

上川管内 校長会	会 報	発行 上川管内校長会 【事務局】旭川市6条通4丁目 上川教育研修センター3F TEL(0166)25-1350 FAX(0166)29-2115
		会長 紺野元樹 編集 広報部
		令和3年度 第1号 (154号)



リーダーとは

上川管内校長会長 紺野元樹
(比布町立中央小学校長)

昨年の会報第151号に下記の文章を寄せました。
「私たち校長の責務は、目の前にいる子どもたちや教職員の生命を守り、安全・安心な学校づくりを限られた条件の中で進めていくことです。(中略)しかし、見方を変えると校長の危機管理・学校経営の能力が試されているといえます。教職員を束ね、鼓舞し、子どもたちや保護者に不安を抱かせないよう丁寧に説明することが大切です。子どもたちの輝く笑顔のために、校長として明確なビジョンを示し、その職務を果たしましょう。」

「この1年の我慢。来年はきっと通常の教育活動に戻れる」という願いを込めて記しました。しかし、1年が経過しても新型コロナウイルスは収束せず、反対に状況が悪化しています。その中であっても、それぞれの校長の適切な対応、市町村校長会のつながり、校長会と地教委の緊密な連携、校長同士の情報交換の様子などに触れ、改めて会員の皆様の高い力量に感銘を受けました。

そんな皆様には、釈迦に説法になりますが、「リーダーとは」という話をします。ハーバード大学名誉教授ジョン・コッター氏は、リーダーとマネージャーの役割を次のように定義しています。

〈リーダー〉変化を見極め組織の向かうべきビジョンを掲げ、関係者を動機付け、ビジョンに向かわせる人
〈マネージャー〉決められた目標に向けて組織を管理し、目標を達成させる人

それを受け、河野英太郎氏 (株)アイデミー 最高執

行責任者)は、

〈リーダー〉性善説にもとづき、人をやる気にさせる仕事

〈マネージャー〉性悪説にもとづき、人を管理する仕事

と整理しています。それを踏まえながら、校長の重要な仕事は何かを考えてみます。それは、「決める」ことです。そして、その結果を「伝える」ことです。そして、教職員組織を前進させるためには、「一貫性を保つ」ことが必要です。さらに「朝令暮改を恐れない」ことです。「一貫性を保つ」とことと一見矛盾しますが、状況が刻々と変わる中で、一度決めたからといって、一貫性に固執するのは問題です。「変えること」が悪いのではなく、「客観的な根拠がないのに変えること」が問題なのです。一貫性と朝令暮改の場を見極めながら学校経営を進めるのが校長の仕事です。

最後に改めて、校長に求められる能力のキーワードは「ビジョンの構築」「人心掌握」「動機付け」です。

管内校長会の事業もやむを得ず中止や縮小するものがあり、会員の皆様に御迷惑をおかけしております。しかし、校長の学びを止めないよう、運営方法などを工夫しながら、可能な限り研修活動などを行っていきます。

今後も、上川管内校長会は、上川教育局や市町村教育委員会の指導を仰ぎながら、市町村校長会と連携し、教育課題に迅速・適切に対応してまいります。会員の皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。



会報の発刊に寄せて

北海道教育庁上川教育局長 河野 秀 平

上川教育の発展に多大なる功績と足跡を残してこられた上川管内校長会が、この度、「会報154号」を発刊されますことに、心からお喜び申し上げます。

貴会におかれましては、教育課題の解決に向け、関係機関・団体と連携を深め、組織的・計画的に実践を積み重ね、管内教育の充実・発展に、多大な御尽力をいただいておりますことに、深く敬意を表します。

また、貴会会員の皆様には、学力や体力向上の取組をはじめ、子ども一人一人の健やかな成長に向け、リーダーシップを遺憾なく発揮していただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。

さて、人工知能（AI）やビッグデータ等の先端技術が高度化してあらゆる産業や社会生活に取り入れられたSociety5.0時代の到来を迎える中、社会の在り方そのものがこれまでとは「非連続」と言えるほど劇的に変わる状況が生じつつあります。

このように急激に変化する時代の中で、我が国の学校教育には一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようその資質・能力を育成することが求められています。

こうした中、貴会が新しい社会の形成に向けて挑戦する子どもを育てる学校経営の推進に向け、「愛情」と「信頼」に基づいた創意に富む信頼される学校経営に努め、北海道教育をリードする教育活動の充実・発展に寄与されていることは、誠に心強い限りであります。

今後とも、児童生徒一人一人の資質・能力を伸ばすという観点から、新たなICT環境や先端技術を最大限活用するとともに、児童生徒同士の学び合いや、他

者と協働して主体的に課題を解決しようとする探究的な学び、様々な体験活動といった学校ならではの教育活動を推進し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図っていくことを御期待申し上げます。

上川教育局といたしましては、教育活動の一層の質の向上に向けて、貴会及び学校と手を携えながら、効果的で質の高い施策の推進に取り組んでまいりますので、引き続き、御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴会の今後益々の御発展と、会員の皆様の御健勝を心から祈念申し上げ、発刊に寄せる言葉といたします。



新教育長のご紹介



愛別町教育委員会
教育長

ば のぶ あき
馬 場 信 明

- ・生年月日 昭和33年12月11日
- ・出身地 士別市
- ・就任年月日 令和3年5月24日
- ・前 歴 旭川市永山公民館専門指導員
- ・信 条 誠実



幌加内町教育委員会
教育長

むら かみ まさ ゆき
村 上 雅 之

- ・生年月日 昭和40年1月1日
- ・出身地 幌加内町朱鞠内
- ・就任年月日 令和3年6月1日
- ・前 歴 幌加内町役場総務課長
- ・信 条 まごころの現場主義

上川管内教育長氏名一覧(敬称略)

市町村名	氏 名	市町村名	氏 名
占冠村	藤本 武	鷹栖町	上西 義幸
南富良野町	岩渕 秀一	和寒町	沓澤 昭一
富良野市	近内 栄一	剣淵町	半田 幸清
中富良野町	鈴木 晶	士別市	中峰 寿彰
上富良野町	服部 久和	幌加内町	村上 雅之
美瑛町	千葉 茂美	下川町	松野尾 道雄
東神楽町	金谷 昭	名寄市	小野 浩一
東川町	杉山 昌次	美深町	草野 孝治
愛別町	馬場 信明	音威子府村	高曾根 誠
比布町	北川 範之	中川町	高橋 信行
上川町	中野 俊和	旭川市	黒蕨 真一
当麻町	中村 欣也		

局長の基本方針 **【令和3年度上川管内教育推進の重点】**

- 目標1 社会で生きる力の育成
- 目標2 豊かな人間性の育成
- 目標3 健やかな体の育成
- 目標4 学びを支える家庭・地域との連携
- 目標5 学びをつなぐ学校づくりの実現
- 目標6 学びを活かす地域社会の実現

採用校長、決意を新たに「上川らしい教育の推進」に向けて

「一人一人が輝く学校」を目指して

中富良野町立宇文小学校

荒川 美奈子



四季折々に美しい姿を見せる十勝岳連峰と芦別岳を望む富良野盆地。その豊かな田園地帯にある本校は昨年100周年という

大きな節目を迎えました。そして4月1年生2名が入学し、児童10名と9名の教職員で新たな一歩を踏み出しました。「百周年の喜びと、少人数の良さを最大限に生かした、一人一人が輝く教育の推進」を方針に、小規模校だからこそできる個に応じたきめ細やかな指導と地域の良さを活用した特色ある教育活動を進めています。徹底した感染防止対策を講じ、「何ができるか」「どうすればできるか」について、学校・家庭・地域が前向きに知恵を出し合い、共通理解を図りながら協働することで、子どもたちの成長と笑顔を共に喜び高め合う学校づくり「教育は共育」を目指して全力で努めてまいります。

一人一人が輝く学校を目指して

士別市立上士別中学校

岡田 亮二



上士別は、天塩川の豊富な水、肥沃な土と穏やかな気候から稲作・畑作・酪農が盛んな地域です。本校は、士別市街地から東

に11kmの場所に位置し、平成28年に上士別小学校との併設校として新校舎が落成しています。水田に囲まれた広い敷地内には、桜やナナカマド等の樹木が多数植えられ、恵まれた教育環境の中にあります。平成30年度からは、小学校と学校運営協議会を共同で設置し、避難訓練や運動会等も合同開催しています。

全校生徒16名、教職員12名という小さな学校ですが、一人一人の特性を踏まえた「個別最適な学び」を実現することができる学校です。大人数では難しい経験を一人一人に提供できる環境にあります。域内にある保・小・高との連携も図りながら、生徒も教職員も一人一人が輝ける学校を目指して、学校経営に努めてまいります。



「太陽と森と湖の町」南富っ子とともに

南富良野町立南富良野小学校

尾崎 雄一



本校は、平成26年に幾寅小・落合小・北落合小の3校を統合して開校し、8年目を迎えています。かなやま湖などの自然・観光資源やカーリング・ラフティング・自然ガイドなどの体験施設を活用した地域と連携した教育活動、南富良野版学力向上モデルを掲げ、小中高で連携した授業改善に取り組んでおります。また、防災学習を教育課程に位置付けて、地域・家庭と取り組む防災教育を推進しております。

本年度の重点目標「自分を高めようとする南富っ子」の実現に向けて、南富っ子が今の自分をよりよく高めていくよう、全教職員がチームとなって教育活動を進めていきます。そして、学校の新しい生活様式を継続し、教育目標「明日を切り拓く心豊かでたくましい子ども」の育成に努めてまいります。

本年度の重点目標「自分を高めようとする南富っ子」の実現に向けて、南富っ子が今の自分をよりよく高めていくよう、全教職員がチームとなって教育活動を進めていきます。そして、学校の新しい生活様式を継続し、教育目標「明日を切り拓く心豊かでたくましい子ども」の育成に努めてまいります。

「地域とともにある学校」を目指して

名寄市立智恵文中学校

鎌田 昌記



今年度で開校75年目を迎える本校は、朔北の大河「天塩川」の恵みを受けた豊かな自然環境と、保護者や地域の方々の大きな愛情に包まれながら、日々、教育活動を推進しています。

そのような中、本校は令和6年度に智恵文小学校と一体化し、義務教育学校として新たに生まれ変わることになりました。現在、両校の教職員が連携を図りながら、子どもたちの確かな成長のために、知恵を出し合い、開校に向けた準備を鋭意進めているところです。

そのような中、本校は令和6年度に智恵文小学校と一体化し、義務教育学校として新たに生まれ変わることになりました。現在、両校の教職員が連携を図りながら、子どもたちの確かな成長のために、知恵を出し合い、開校に向けた準備を鋭意進めているところです。

地域に根ざした新たなる学校づくりを通して、保護者や地域の方々としっかりと手を携えながら、両校共通の教育目標「自ら学び、未来をたくましく生き抜く智恵文の子」の実現と、名寄市が今年度掲げている「地域とともにある学校づくり」の一層の充実を目指し、教職員一丸となって教育活動の推進に努めていきたいと思っております。

夢と感動のある学校づくりを目指して

東神楽町立志比内小学校

木末 携志



本校は、開校から112年目を迎え、平成5年度より、山村留学校・特認校としての認定を受け、28年目になります。今年度は児童6名教職員6名でのスタートとなりました。教職員と保護者、地域が一体となり、学校教育目標の「強く 正しく 美しく」を目指して教育活動を推進しております。全教職員が子どもたちの担任という意識で、一人一人の子に寄り添ったきめの細かい指導を大切にしています。

今年度は「豊かな創造力をもって主体的に取り組み、生き生きと活動する子どもの育成」を重点目標に掲げ、全教職員が一丸となって、明るく風通しのよい職員室をベースに感染対策に留意しながら、子どもたちの学びの保障と、子どもたちが夢と感動のもてる教育活動を展開し、保護者や地域の方々から「信頼され、愛される学校づくり」に努めてまいります。

今年度は「豊かな創造力をもって主体的に取り組み、生き生きと活動する子どもの育成」を重点目標に掲げ、全教職員が一丸となって、明るく風通しのよい職員室をベースに感染対策に留意しながら、子どもたちの学びの保障と、子どもたちが夢と感動のもてる教育活動を展開し、保護者や地域の方々から「信頼され、愛される学校づくり」に努めてまいります。

笑顔があふれる学校を目指して

富良野市立山部小学校

桑原 久美



芦別岳を望み空知川が流れる地にある山部小学校は、東大演習林や太陽の里など学習環境に大変恵まれています。全校児童34名、教職員15名の小さな学校は、開校117年を迎えます。教頭として二年間勤務したこの学校に戻り、保護者も地域も温かく迎えてくださり安堵しました。

今年度は「笑顔があふれる子ども」の育成を重点目標に、教職員が一つとなって教育活動を進めてまいります。また、地域と連携した森林学習や農作物栽培等の体験的活動を、コロナ禍においても、より充実したものになるよう改善していきます。そして、魅力ある学校を創り広く発信していけるよう、また知恵と工夫で学校課題を乗り越えられるよう、校長としての自覚をもって精一杯努めていく所存でございます。

今年度は「笑顔があふれる子ども」の育成を重点目標に、教職員が一つとなって教育活動を進めてまいります。また、地域と連携した森林学習や農作物栽培等の体験的活動を、コロナ禍においても、より充実したものになるよう改善していきます。そして、魅力ある学校を創り広く発信していけるよう、また知恵と工夫で学校課題を乗り越えられるよう、校長としての自覚をもって精一杯努めていく所存でございます。

「生き生き」と学ぶ学校づくり

士別市立温根別小学校

佐藤 正和



温根別は、士別市街地から西に約10kmに位置する、畑作を中心とした自然豊かな地域です。

ここにはかつて7校の小中学校がありました。統廃合が進み本校は地区に残された唯一の学校となりました。明治38年の開校から今年で115年を数えます。令和3年度は、児童11名、教職員9名でスタートしました。本校は複式学級ですが、一部の教科は教員の配置を工夫して単式で実施し、児童の学力向上を目指しています。GIGAスクールの本格開始と合わせて、子どもたちの多様な学びを支える体制を整えています。新型コロナウイルスの感染拡大は依然として予断を許さない状況が続き、2度目の緊急事態宣言も発出されました。制約の多い中ですが、CSを通して地域との連携強化を図り、教職員が一丸となって、子どもたちが「生き生き」と学ぶ学校づくりに努めてまいります。

「チーム学校」の実現

上富良野町立東中小学校

澤田 克之



本校は、明治30年に富良野盆地東中地区の開拓が始まってまもなく開校し、昨年度120周年を迎えました。今年度は、「今

できること『東中小ならではの』の創造」を目標に掲げ、小規模校のメリットを最大限に生かし、個に応じたきめ細かな指導、家庭との緊密な連携、地域と協働した教育の推進等、本校ならではの教育活動を進めています。昨年度、コロナ禍によりリモート授業を実施しました。その経験を生かし、今後も積極的にICT機器の活用を進め、子どもの創造性を育ててまいりたいと考えています。健やかに成長している子どもたち、子どもを愛する教員集団、温かく学校を支えてくださる家庭・地域の中で、創造的な教育実践ができることに心から感謝しています。学校・家庭・地域が一体となった「チーム学校」の実現を目指し、尽力してまいります。

関わりを生かす学校を目指して

名寄市立中名寄小学校

早坂 昌俊



本校は、昭和63年から「はだしの学校」として心身の健康づくりに励んでいます。健康面での自己管理能力の育成や運動能力の向上、豊かな感性の育成に効果を上げている学校です。また、特認校として名寄市中心部からバス通学による児童を迎え、多様な関わりを通して豊かな教育を推進しています。家庭・地域が協力的で日ごろから温かい御支援のもとで教育活動ができる恵まれた環境にあります。

今年度の重点教育目標の一つは「心をこめて他と関わり、自己有用感をもつ子どもの育成」です。恵まれた教育環境を生かし、様々な関わりの中で、豊かな体験を通して自信をもち豊かに表現できる子どもの育成を目指します。家庭・地域とさらに強い絆を作り、課題を共有しながら目標の実現に向けて教育活動を推進する学校づくりに努めてまいります。

小規模校の強みを活かして

占冠村立占冠中学校

山口 康一



本校は平成30年度より小中一貫校として、占冠中央小学校と連携協力し、9年間を見通した教育活動を実践しています。また、村内全3校を「CS占冠学園」とし、合同学習や乗り合い授業など、学校・家庭・地域が連携・協働し子どもを育てる取組を進めています。一人一人に届くきめ細かな指導は、子どもたちの良さを引き出し、高める実践につながっています。入学式の式辞では「失敗を恐れず前向きに挑戦してほしい」と伝えました。生徒の明るい笑い声が響く校舎を見渡していると前向きな気持ちが必要なのは私たち大人の方かもしれないと感じる毎日です。全校生徒19名、小規模校だからこそできる教育活動を今後も家庭・地域とともに推進していく所存です。

令和3年度 各部事業計画

経営部

部長 布施 司 (当麻小学校)
 副部長 蟹谷 正宏 (愛別中学校)
 部員 小林 真弓 (樹海小学校)
 部員 小嶋 高德 (幌加内中学校)

1 方針

市町村校長会との連携を図り、学校経営に関する法制上の諸問題の研究を深めるとともに、学校経営の充実に資するために校長会組織の強化を図る。

2 推進の重点

- (1) 学校経営の課題の究明と組織の強化
- (2) 学校経営に関する関係法規の研究と情報の収集・提供
- (3) 管内校長会役員選考に関する業務
- (4) 道小・道中経営部との連携

3 事業計画

- (1) 組織強化に関すること
- (2) 法制研究会・教育経営研究会の開催に関すること
- (3) 学校経営に関する法制上の課題把握と関係法規の研究・具体的問題の収集処理に関すること
- (4) 管内校長会役員選考業務の推進に関すること
- (5) 道小及び道中経営部との連携に関すること
- (6) その他、組織・法制及び福利厚生に関すること

4 年間の予定

- 4月9日(金) 第1回経営部理事研修会
 5月14日(金) 第2回経営部理事研修会 ※オンライン
 6月中旬 退職校長会「上川会」業務
 6月24日(木) 第3回経営部理事研修会
 7月19日(月) 第4回経営部理事研修会
 8月3日(火) 法制研究会 ※オンライン
 8月31日(火) 第5回経営部理事研修会
 12月中旬 第1回役員選考委員会
 1月21日(金) 第6回経営部理事研修会
 2月上旬 第2回役員選考委員会

5 事業分担

- (1) 布施
 - ①経営部理事研修会の企画立案、推進
 - ②法制研究会・教育経営研究会の業務推進、講師依頼等
 - ③道小・道中、管内校長会、各関係機関との連絡調整
 - ④叙位叙勲調査準備、発送
 - ⑤退職校長会「上川会」業務
- (2) 蟹谷
 - ①経営部理事研修会の司会・進行
 - ②次年度役員選考会に関する計画・業務推進
 - ③退職校長会「上川会」業務
- (3) 小林
 - ①法制研究会・教育経営研究会の企画立案、業務推進
 - ②法制研究会・教育経営研究会の質問・要望事項の依頼、集約
- (4) 小嶋
 - ①経営部会計業務
 - ②経営部理事研修会の会場確保

6 法制研究会・教育経営研究会について

*今年度の「法制研究会・教育経営研究会」については、8月3日(火)に「法制研究会」を午前中オンラインで開催、「教育経営研究会」は書面開催とする予定である。

研修部

部長 金光 保 (中富良野小学校)
 副部長 富永 浩司 (上富良野中学校)
 部員 大垣 幸治 (美沢小学校)
 部員 中間 靖之 (和寒中学校)
 部員 指川 文徳 (士別小学校)

1 方針

- (1) 学校経営及び教育活動の交流を通して、豊かな人間性を育てる教育課程の編成に努めるとともに、市町村及び地区ごとの研修を一層活性化し、その成果を管内的に積み上げ集約していく。
- (2) 道小研究大会・全連小研究協議会及び道中研究大会・全日中研究協議会への積極的な参加を推進し、その成果を管内教育の深化・充実に生かすように努める。

2 推進の重点

- (1) 事務局との連携強化を図る。
- (2) 旭川市小学校長会・旭川市中学校長会、関係機関との連携強化を図る。
- (3) 部内研修の効率化（メール、クラウド活用）と業務推進状況の情報共有化を図る。

3 事業計画

- (1) 管内・地区の研修組織及び運営と連絡調整に関すること
- (2) 道小・道中研究大会及び全連小・全日中研究協議会に関すること
- (3) 会員の研修に関すること
 - ①上川管内公立小・中学校長教育研究大会の開催 ※オンライン
 - ②各地区研修会の開催
 - ③今日的な課題に関する研修会の開催
- (4) 研修資料の収集・提供に関すること
- (5) 研究のまとめ「啐啄」の編集と発行に関すること
- (6) 道小・道中研修部との連携に関すること
- (7) その他、研究・研修に関すること

4 年間の予定

- 4月9日(金) 第1回研修部理事研修会
 4月23日(金) 第2回研修部理事研修会
 5月7日(金) 第3回研修部理事研修会
 管内市町村研修担当者会議開催
 6月中旬 第1回三校長会正副研修部長会議
 7月27日(火) 中部地区研修会 (比布町)
 7月28日(水) 北部地区研修会 (士別市)
 7月30日(金) 南部地区研修会 (富良野市)
 8月4日(水) 管内公立小・中学校長教育研究大会※オンライン
 9月10日(金)・11日(土) 道小研究大会石狩・千歳大会
 9月24日(金)・25日(土) 道中研究大会宗谷・稚内大会
 10月14日(木)・15日(金) 全連小研究協議会石川大会
 10月21日(木)・22日(金) 全日中研究協議会静岡・浜松大会
 10月下旬 第2回三校長会正副研修部長会議
 11月26日(金) 第4回研修部理事研修会
 1月21日(金) 第5回研修部理事研修会
 2月25日(金) 啐啄発行

5 業務分担

- (1) 全体計画・・・・・・・・・・・・ 金光
- (2) 会計・・・・・・・・・・・・・・ 指川
- (3) 「啐啄」の編集と発行・・・・ 指川
- (4) 市町村研修担当者会議・・・・ 全員
- (5) 全連小、道小研究大会・・・・ 大垣・金光
- (6) 全日中、道中研究大会・・・・ 富永・中間
- (7) 管内教育研究大会・・・・・・ 金光・富永
- (8) 地区研修会・・・・・・・・・・・・ 大垣
- (9) 今日的な課題研修会・・・・・・ 中間

6 その他

- (1) 業務の推進に当たっては、事務局との連携を密にし、方針並びに推進の重点の達成に努める。
- (2) 管内公立小・中学校長教育研究大会及び各地区研修会の業務推進にあたっては、研修部の各担当係を窓口としながら、メールを活用し連携を密にして業務を推進する。
- (3) 円滑な業務推進を図るため、研修部内の打合せや連絡・報告を確実にし、資料や記録の集積の徹底を図る。

令和3年度 各部事業計画

広 報 部

- 部 長 富 居 充 孝 (士別南中学校)
- 副部長 小 林 勝 彦 (名寄西小学校)
- 部 員 田 畑 幹 夫 (布部小中学校)
- 部 員 加 藤 信 彦 (宇園別小学校)
- 部 員 林 真千子 (朝日中学校)

1 方 針

- (1) 広報活動を通し、各種情報を的確に提供することにより、会員の意識の高揚と組織活動の強化・充実に努める。
- (2) 市町村校長会との連携を図り、各種調査等を実施し、各学校の有効な経営に資するため、資料の収集に関する業務の推進に努める。

2 推進の重点

- (1) 会員相互の交流を通して、学校経営に寄与できる会報の発行に努める。
- (2) 各種調査等を実施し、各学校の有効な経営に資する資料の収集に努める。

3 事業計画

- (1) 会報の編集と発行(年3回)に関すること
- (2) 各種調査の企画・実施に関すること
- (3) 統廃合学校に関すること
- (4) 道小及び道中対策部・情報部との連携に関すること
- (5) その他情報の収集・提供・蓄積に関すること

4 年間の予定

- 4月 9日(金) 第1回広報部理事研修会(業務分担、内容確認)
- 4月23日(金) 第2回広報部理事研修会
(年間計画・会報154号発行計画検討)
- 5月 7日(金) 会報154原稿依頼
- 6月 3日(木) 第3回広報部理事研修会 ※書面会議
(会報154号校正、会報155号発行計画検討)
- 6月24日(木) 会報154号発行 会報155号原稿依頼
- 9月 1日(水) 統廃合資料依頼文書発送
- 10月 8日(金) 第4回広報部理事研修会
(会報155号校正・会報156号発行計画検討)
- 10月28日(木) 会報155号発行、156号原稿依頼
- 12月17日(金) 第5回広報部理事研修会
(会報156号校正・業務反省)
- 2月 4日(金) 会報156号発行

5 業務分担

- (1) 会報の編集・発行
154号(田畑) 新入会員の抱負、各部の活動計画など
155号(加藤) 各校長会の活動、会員の声など
156号(林) 勇退校長惜別の言葉など
- (2) 道小・道中との連携・・・小:小林、田畑
中:富居、林
- (3) 統廃合調査、資料収集・・・林
- (4) 上川学協理事・・・・・・代表:富居(全員で分担)
- (5) 北海道交通安全対策・・・・代表:加藤(全員で分担)
- (6) 会計・・・・・・加藤

6 その他

- (1) 会報の発行予定
6月24日(木)、10月28日(木)、2月4日(金)

